

【令和4年度 第5回町政懇談会】

開催日時 令和4年7月26日（火）午後7時～

開催場所 石間集会所

出席者 神田町長、阿部町民生活課長、五十嵐まちづくり観光課長、阿部三川支所長、鈴木総務課長補佐、長谷川行政係長

参加者数 27人（石間区21人・石戸区2人・白崎区1人・古岐区1人・谷沢区2人（うち議員3人・職員1人））

（青字：その後の対応・回答・調査等）

質問・意見の要旨	回答の要旨
<p>◆阿賀の里について</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・再生に向けて他の施設を職員に視察させるとよいと思います。</li><li>・移動販売車は廃止になったのですか。高齢になると買い物に行けないので食材等を販売するものがあるといいと思います。</li><li>・阿賀野川文化資料館を改修し、再利用の考えはないのですか。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・町職員、阿賀の里の職員も視察を実施しています。他の施設を見て、いいところ、他にないもの、魅力的な施設になるよう取り組んでまいります。</li><li>・民間で同事業を始めたので、競合するため中止したところです。ドローンによる配達の実験、また、七福の里では予約をして配達という実験を行っており、実験を踏まえながら可能な限り、広めていきたいと考えています。お店が少なくなっておりますので、販売車の活用も含め、買い物支援は大事な課題として取り組んでいきたいと考えております。</li><li>・水害によって、施設の中は使える状況にないと承知しています。阿賀の里が活性化するため周辺の景観も活かしながら、敷地内、資料館についても一緒にどうするのかを検討することにしたと思います。</li></ul>

・阿賀の里の基本計画（案）を拝見しましたが、以前（平成8年）の計画とほとんど同じです。費用対効果を感じられません。採算がとれて持続可能な施設のように思えません。経営感覚があるとは思えません。

提案となりますが、セクション別に阿賀流域の物産にこだわって、阿賀の里に集まる仕組み作る。集荷システムを作る。長く続けるものに変えていく必要があると考えます。

・阿賀野川を利用し、子供を巻き込み、例えば新潟県内の小学校4．5年になったらここで自然観察をやるとか、自然教育・体験教育を進めてはいかがでしょうか。ターゲット、視点を変えて活性化を図る方法もあると思います。

◆中小零細企業の支援を、除雪等に対する助成をお願いしたい。

◆山岳観光の推進について、どのような考えをもっていますか。

・阿賀の里については、建物の修理を含めながらリニューアルだけでなく、どのように運営するかが大事で、ここがスタートになると考えています。

・危機感をもって、作ることが目的ではなく、いかに活性化させるかという観点で取り組んでいきます。経営感覚をもって、よりしっかりとした計画となるようプロの皆さんから指導いただき、ご意見を聞いて進めたいと思います。

・特に阿賀町の子供たちには川に親しんでもらいたい思いがあります。川から色々学んでもらいたいという思いです。そして、県内に広げていく戦略は大事だと思います。教育委員会には一定の学年になったら川での学習の取り組みを投げかけています。まずは船に乗ってと考えているところです。ご提案ありがとうございます。

・コロナや価格の高騰等、会社を継続するのは大変だと察します。より具体的な皆さんの意見をききながら協議、検討してまいります。

・現実的にどう取り組めるかというところを検討しているが、大変な厳しい環境にあるということですのでご指導いただきながら、現場を、山を登りながら調査、検討して参ります。

◆水害時の対策

・区長としての水門のゲートを閉めるタイミング・判断が難しい。ダム  
の放流量等の判断材料となる情報提供をお願いしたい。  
水門のマニュアル、内水排水対策はありますか。

◆少子化問題について、現状をどう考えるか。どのような対策を考  
えていますか。

・子どもが増えているところもあるので参考にするとよいと思います。

・より丁寧に情報をお知らせできるよう対応します。状況に応じて阿  
賀野川工事事務所の職員に役場に常駐してもらい上流の状況も含め、  
よりの確な情報を集めてお知らせするよう対応します。

・ゲートの操作については基本的なマニュアルは存在しますが、地域  
的な条件も異なるので、区と消防団と打合せをさせていただきたいと  
思います。

・内水排水対策として、排水設備（大型排水ポンプ車等）を整備し、操  
作は業者委託することなどを検討しています。

・阿賀町の一番の課題であると捉えています。分析と対策が甘かった  
と思います。現実を捉えながら反省し対策していきたいと思います。

・原因のひとつとして、未婚の割合が多いので婚活事業の取り組みを  
始めました。成果はまだ出ていませんが続けていきたいと考えていま  
す。

・子育て支援にあっては、考えられるものは実施し県内でも進んでお  
り、こうした阿賀町の良さを発信していきたい。しかし、なかなか成果  
が出ない難しいところもあり、皆さんからも意見をいただきたいと考  
えております。

・移住の政策によって増えているところもあります。町でも阿賀黎明  
高校の生徒の寮を作ってよそから来ていただいています。

コロナによって生活のスタイルが変わったので阿賀町は素晴らしい  
んだということをアピールして、乗り遅れないように対応していきたい  
と思っています。

◆結婚の推進だけでは子供を増やすのは難しいと思うので、子ども、孫を受け入れる短期留学・体験留学・長期留学の方法はありますか。

◆高齢者が増えていますが、高齢者を宝として、活躍の場を作ってもらいたい。

◆有害鳥獣対策

・阿賀の里の近くの畑にサルが出没し、畑が荒らされ、檻の設置を依頼しましたが、在庫がないといわれました。作ることはできないのでしょうか。クマの檻の設置はできないのでしょうか。

◆カメムシ対策のいい方法はありますか。

・移住の覚悟は難しいので、はじめは短期的に体験的にスタートするという部分もいい方法だと思います。

地域おこし協力隊も来ていただいていますので、住み続けていただけるよう考えていきたいと思っています。

・高齢者の方が培ってきた経験・技術を生かしていただけるように、地域のため、子供たちのために活躍していただきたいと考えています。健康で生きがいをもって生活できることが極めて大事と考えています。

・住宅の近くや夜間は鉄砲での駆除はできません。檻が不足しているようであれば、購入して増やすしかないと考えます。地元で作ってもらえるならこんないいことはないと思います。綱木では竹でイノシシ用の檻を作ってもらっているとのこと。ただし、設置したら管理しなければなりませんので、猟友会や支援員に管理をお願いすることになるので検討したいと思います。

⇒有害鳥獣係により、対策方法について回答

・カメムシ専用の薬剤による駆除が効果的です。購入費の補助については薬剤は高いのでどの程度の経費がかかるか積算し具体的に検討したいと思います。